TOSHIBA

日本国内専用品
Use Only in Japan

東芝IHクッキングヒーター設置説明書

ビルトインタイプ（単相200V）

形　名 BHP-D631S／D631B

安全上のご注意

- 設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が *1傷害を負ったり *2物的損害の発生が想定される内容を示します。

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
*2 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味	
⃠ 禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で指示します。	
● 強制	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で指示します。	

- 設置完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この「設置説明書」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

警告

設置工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する
- ご自分で設置工事され不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、設置説明書に従い確実に行う
- 設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、機器の重量に十分耐える所に確実に行う
- 耐重量不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因になります。

電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」、及び設置説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。また、電圧は製品の定格電圧に合わせる
- 電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

電源は200V-30Aの専用回路と漏電しゃ断器を設置する
また、電源プラグ（250V−30A）に合った専用コンセントを単独で使用する
- 電源回路の容量不足や設置不備があると感電、火災の原因になります。

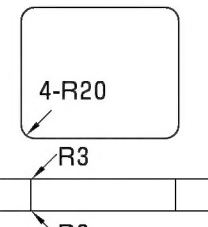
アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う
- アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。

設置工事部品は、必ず付属品または、指定の部品を使用する
- 異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。

絶対に分解・修理・改造は行わない
- 火災、けが、感電の原因になります。

注意	
	トッププレートに衝撃を加えない ●ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。
	試験運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部にふれない ●やけどの恐れがあります。
	ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う ●熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低い材料を使用すると、変形･火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

設置される方へのお願い	
	●この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定の方法で設置してください。 ●設置完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。 ●この説明書は、必ずお客様にお渡しください。 ●梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。 ●ガス事業者に連絡しないで、ガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは、法令により禁止されています。 事前に、ガス事業者へ連絡してください。

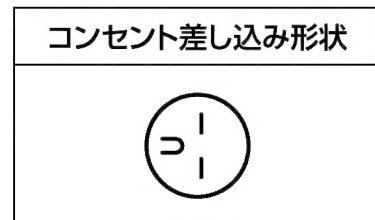
1 電気工事および接地工事

■電源工事や接地工事は「**電気設備技術基準**」「**内線規程**」など、関連する法令･規定に準じて行ってください。

■電源は30A専用回路（ブレーカ付）を設けてください。電源は必ず単相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因です。
漏電しゃ断器を必ず設置してください。
- 推奨漏電しゃ断器:定格電流30A、感度電流30mA

■電源コンセント：埋込コンセント………単相3線式･2極･接地極付･250V･30A
（推奨形番　東芝ライテック DC2582E　松下電工 WF3630B）
- 電源コンセント取付位置は、次項の「**システムキッチンとの関係寸法図**」を参照してください。
- 電源コードの直付は絶対にしないでください。

コンセント差し込み形状

■アース工事は必ず行ってください。（D種接地工事）
- 上記コンセントの一極接地用に配線してください。

〈ご注意〉アースは、他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管、電話線用のアース線への接続は危険ですので絶対お止めください。

電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

2 人造大理石ワークトップへ取り付けされる際のお願い

■人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック（ひび）の入ることがあります。右記の要領で加工し施工してください。

（注）人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。

開　口　部　の　加　工

- 穴あけはルーターを使用してください。
- 4コーナーのRは極力大きくしてください。
- 切断面の上下エッジは、3Rのアールをつけてください。または＃240のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。

3 システムキッチンとの関係寸法図

単位:㎜

〈取り付け穴〉
（ワークトップ切り込み寸法）

B面（機器前面）

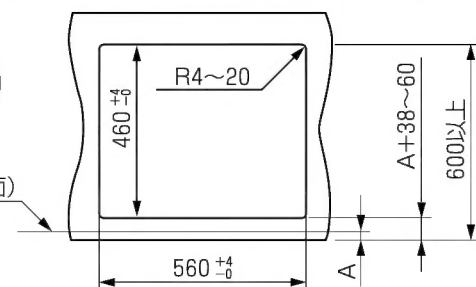
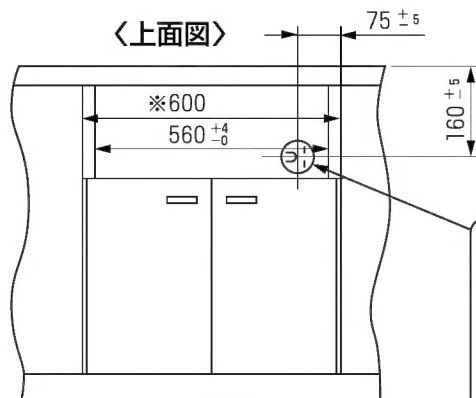
R4〜20

460 +4 −0

560 +4 −0

A+38〜60

600以上

A

部分への突起は不可

※A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機体前面）との差です。

〈上面図〉

75 ±5

※600

560 +4 −0

160 ±5

〈正面図〉

※設置の際、前面より奥行25㎜以上は600㎜幅の空間が必要です。

システムキッチン背面の壁のこの位置に図のようにアース端子を左、プラグ刃受を右にしてコンセントを設けてください。

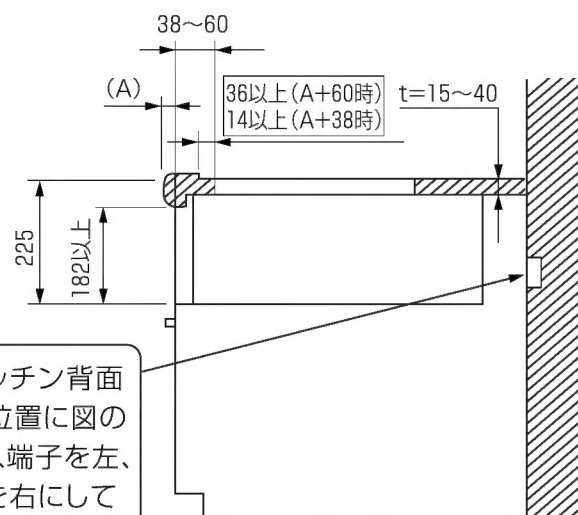
38〜60

(A)

36以上（A+60時）
14以上（A+38時）

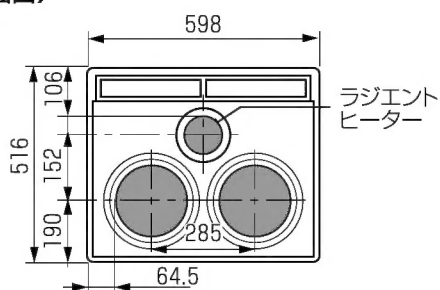
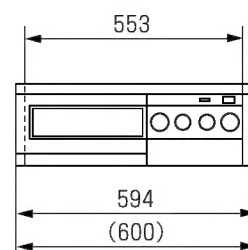
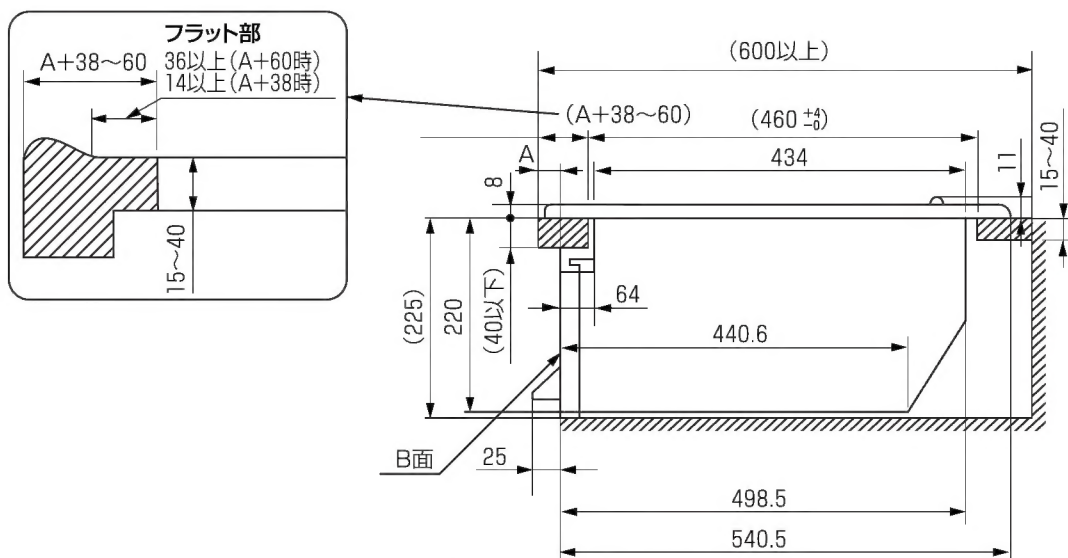
t=15〜40

225

182以上

〈側面図〉

露出型コンセントも取り付けが可能です。

4 製品外形寸法図 （　）内はシステムキッチン寸法

単位:㎜

※A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。

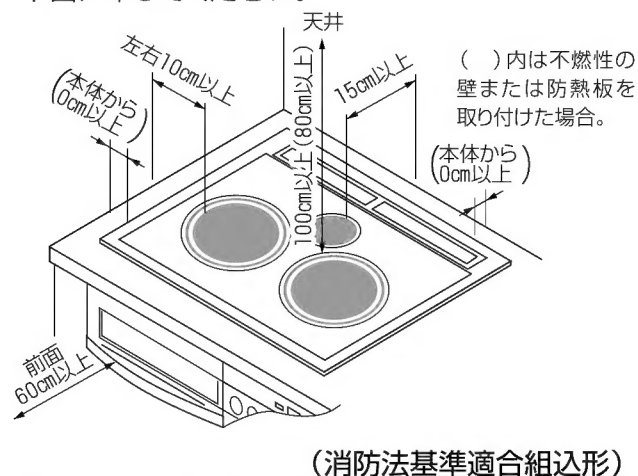
5 設置場所の確認

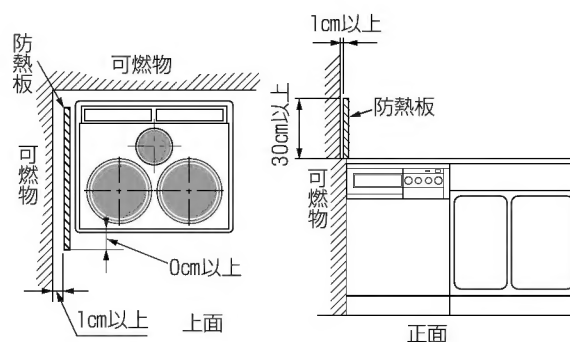
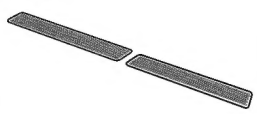
火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■設置を始める前に確認してください。

- 器具の大きさに合った**丈夫**で**水平**な台の上に設置してください。
- 器具は火災予防上、可燃物（土壁・棚）との間を側面10cm以上、背面15cm以上、上面100cm以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

- 周囲に**可燃性の壁・たな等**がある場合や、**可燃性の壁にステンレス板**を貼り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。

（消防法基準適合組込形）

※設置をするときは、所轄の消防署に確認してください。

- 可燃性の壁より、左記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。

- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備の技術基準の解釈について第5章電気使用場所の施設第1節屋内の施設第167条で危害なきよう設置することが定められています。）
- **グリル排気口**をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などで**ふさがない**でください。
- 本体をタイルやモルタルで、**塗り込まない**ようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- 幕板上部とワークトップとのすき間は、ふさがないでください。
  排気部分となっていますので製品の故障の原因となります。
- **湿気のすくないところ**に設置してください。
- **十分換気**のできるところに、設置してください。
- 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など**燃えやすいものは、置かない**ようにしてください。
- ワークトップは、熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）または、これと同等以上の材料を**お使い**ください。
- ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、**お使いにならない**でください。

〈ご注意〉この機器を設置される台所が、建築基準法に定める［内装制限受ける調理室］に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

- 設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

6 設置する

設置前の準備

■包装材料を取り外し、付属品を確認する

サイド飾り	吸排気カバー	幕板	焼網	天ぷらなべ
左用 右用	2個	1個	1個	1個

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。
●操作部止めテープおよびグリル扉止めテープをはがし、グリル焼網の包装材を取り除いてください。

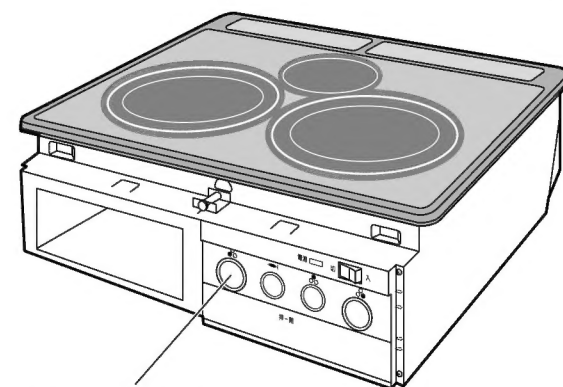
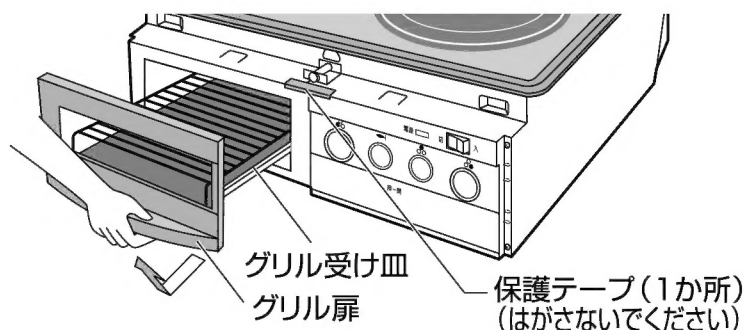
■グリル扉・グリル受け皿を取り外す

グリル扉の取手を持って引き出し、そのまま斜めに上に引き上げる。

●設置前には、グリル扉・グリル受け皿を取り出してください。

（取り出さないと、設置時にグリル扉が出たり、前固定金具の固定時にグリル扉の表面を傷付けることがあります。）

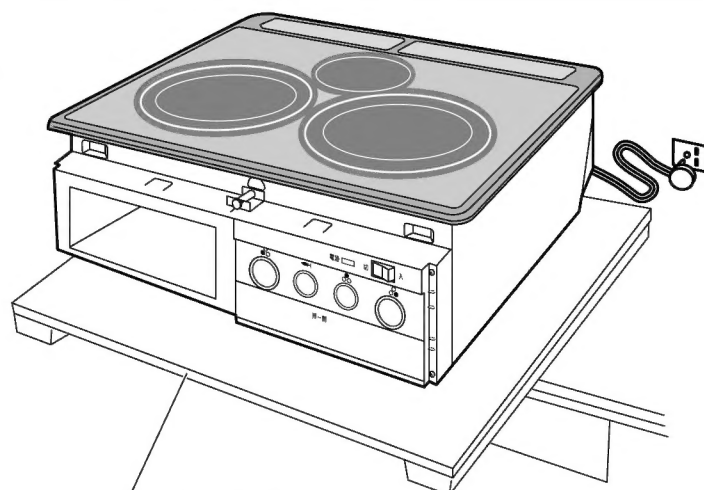
●調節つまみは押し込んだ状態としてください。

（とび出た状態ですと、設置時に調節つまみがワークトップに当り、傷が付いたり、故障の原因となります。）

本体の設置

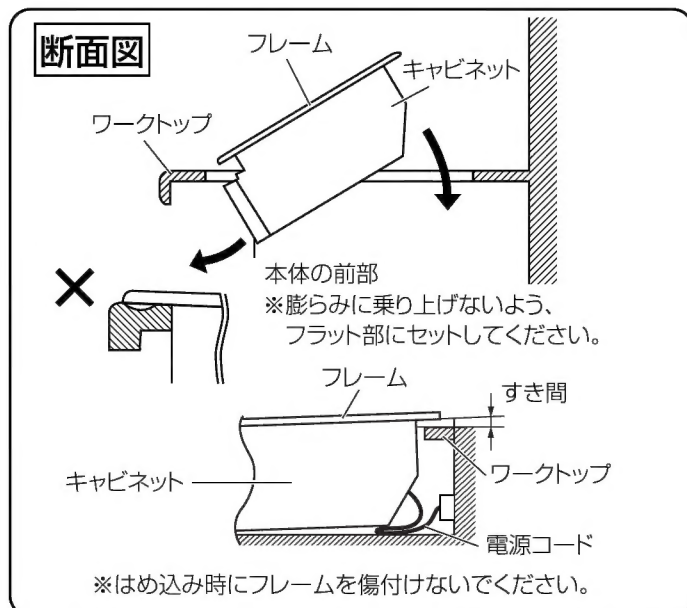
1 電源プラグを差し込む

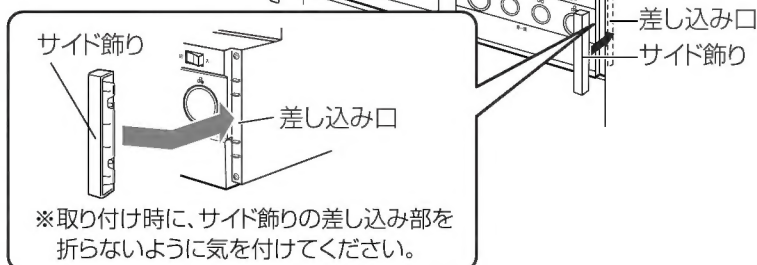
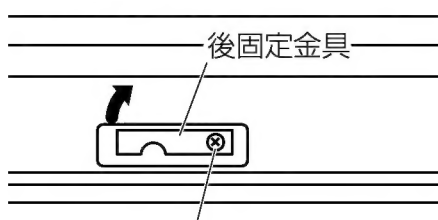
●ワークトップに傷をつけないように包装用のダンボール板を敷いてください。

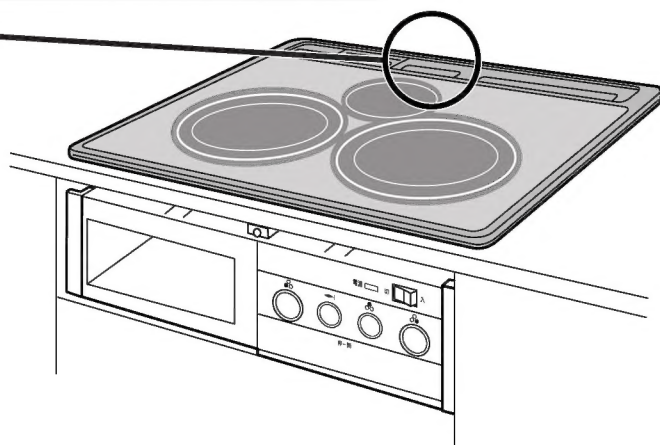
お願い

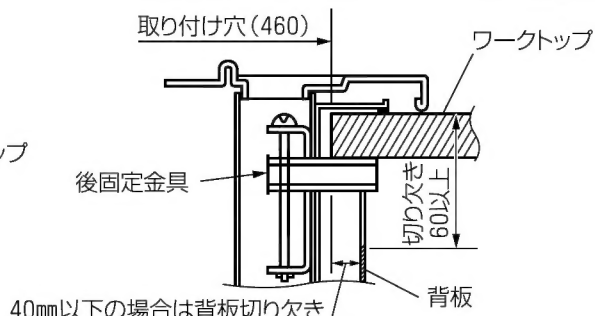
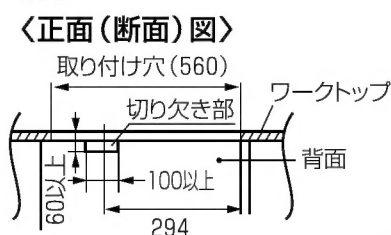
●電源コンセントの端子に緩みがないようにしてください。
●電源プラグは奥まで確実に差し込んで下さい。

2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てないでください。（スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。）
- フレーム下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。

（本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。）

3 サイド飾りを取り付け本体の位置を調整する

①前板側面の差し込み部に、サイド飾りを取り付ける。
②サイド飾りとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する。
③キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。

4 固定金具を固定する

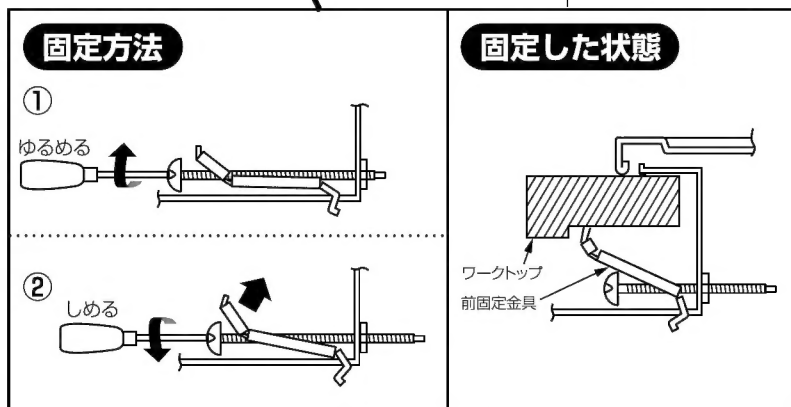
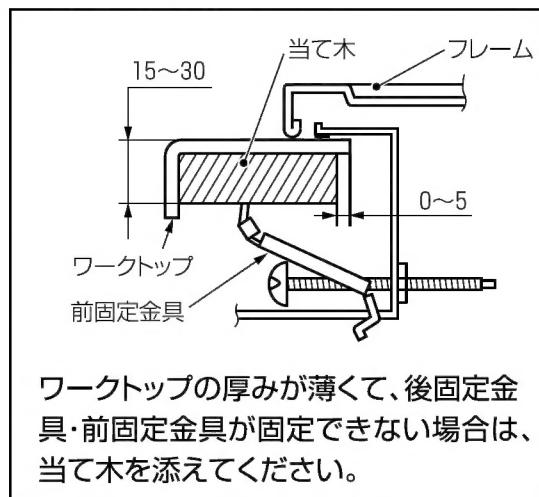
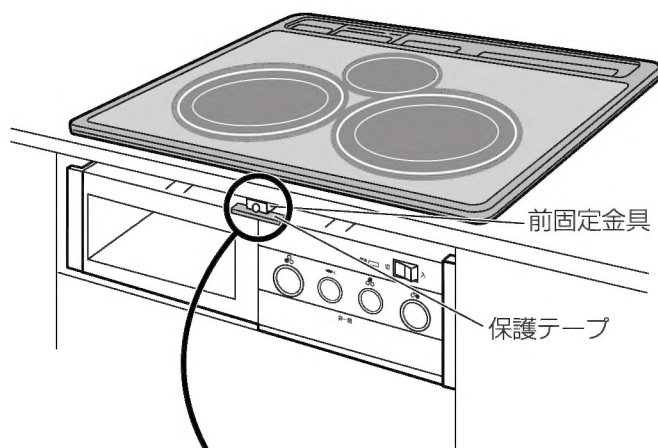
（後固定金具が上に移動してワークトップに押え付けられシール性が確保されます）

キャビネットの後方に背板がある場合

- 背板位置がキャビネットの取り付け穴から40㎜以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。

5 前固定金具（1か所）を固定する

保護テープは前固定金具の固定が終わってから、はがしてください。

①ねじをゆるめて、前固定金具をゆるめる
②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する。

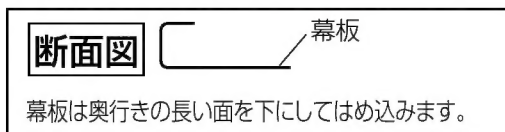
- 固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにしてください。
  ※先の長い（約70㎜以上）ドライバーをお使いください。
- 固定後は、フレームを押して動かないことを確認してください。

ワークトップの厚みが薄くて、後固定金具・前固定金具が固定できない場合は、当て木を添えてください。

7 設置完了後

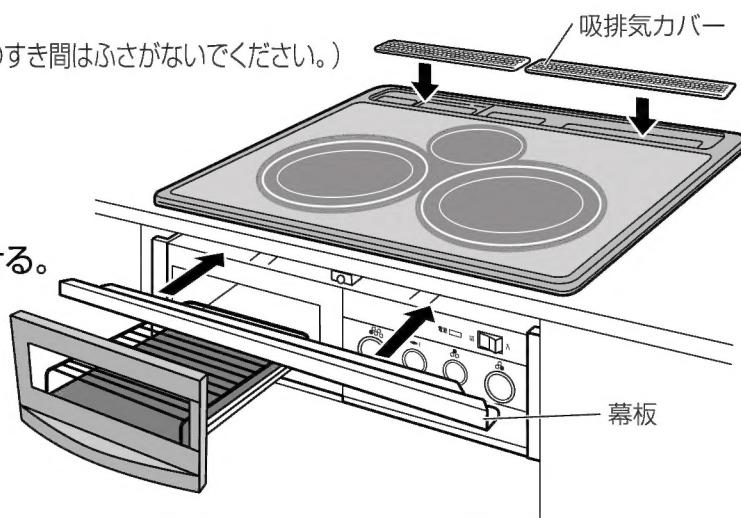
付属品およびグリル扉・グリル受け皿、焼網の取り付け

①吸排気カバーを取り付ける。
②幕板を取り付ける。（幕板上部とワークトップとのすき間はふさがないでください。）

断面図 幕板

幕板は奥行きの長い面を下にしてはめ込みます。

③グリル扉・グリル受け皿、焼網を取り付ける。

- グリル受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込んでください。

※天ぷら専用なべ、取扱説明書、保証書、設置説明書（本紙）は必ずお客様にお渡しください。

下部フィラー（別売品）を必要とする場合・・・設置高さ270mm対応用

	高さ調節用フィラー（ブラック）	高さ調節用フィラー（シルバー）
品　番	BHP-608HF	BHP-608HFS
希望小売価格（税、工事費別）	3,900円	6,000円

※取付方は、各々の説明書をご覧ください。

8 設置完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。完了後トッププレートに保護ダンボールを置いてください。

	確　認　項　目	チェック
付属品などの取付包装材の取り外し	グリル扉部止めテープの取りはずし。	
	吸排気カバーの取り付け。	
	グリル受け皿、焼網の取り付け。	
	取扱説明書、設置説明書、天ぷら専用なべを包装箱から取り出し、お客様にお渡しする。	
外　観	●フレームは浮いていないか。　●トッププレートは汚れていないか。　●外観にキズは付いていないか。	
電源設備	設置工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	①ブレーカーを"入"にする。 ②電源電圧が200Vであることを確認する。 ③電源スイッチを"入"にする。→電源ランプが点灯する。	
	④各ヒーターの動作をチェックをする。 ●左ヒーターのチェック ●操作パネルの一番左の丸いつまみを押す。 →つまみが手前に出て、トッププレート手前左側の火力表示ランプ全てが点滅する。確認後はつまみを押して"切"の状態にしてください。 ※左ヒーターはＩＨヒーターですので、トッププレートの加熱部に鉄系のなべが置かれている場合しか加熱されません。上記の火力表示の点滅はなべが無く、通電されていない状態を示しており、正常です。もし鉄系のなべがお手元にある場合は、水を入れて、つまみを回して通電を開始し（火力表示が点滅から点灯に変わり火力を表示します）水が加熱されるのを確認してください。 （●付属の天ぷらなべは使わないでください。水を入れると錆びます。 ●使用した場合は乾いた布で水気を充分に拭き取ってください。）	
	●右ヒーターのチェック 上記左ヒーターと同じIHヒーターです。同様に一番右側のつまみで操作して確認してください。	
	●中央ヒーターのチェック ●操作パネルの右から2番目の丸いつまみを押す。つまみが手前に出ますので時計方向に回し、トッププレート手前中央の火力表示ランプを「6個目（全て）」まで点灯させる。約30秒後にトッププレートの中央ヒーターが薄く赤くなる。熱くなるので注意してください。確認後はつまみを押して"切"の状態にしてください。	
	●グリルのチェック ●操作パネルの左から2番目の丸いつまみを押し、時計方向に回し、トッププレート手前中央の火力表示ランプを「6個目（全て）」まで点灯させる。約1分でグリルの中が熱くなる。 確認後はつまみを押して"切"の状態にしてください。	

■総消費電力の切り換えについて（5800W⇔4800W）

この製品は総消費電力を5800W（工場出荷時）から4800Wに切り換えることができます。
電気容量などにより、最大消費電力を少なくして、ご使用できます。

●切り換え方法

①電源スイッチを「入」にしてパネル操作部右タイマー「取消」キーを2回押す。
②続いてパネル操作部の右タイマー「時」キーと中央ヒーター、グリルタイマー「取消」キーを同時に1回押す。
ピーと鳴り［P］［58］［　］と表示されます。
③右タイマー「時」キーを押して5800Wから4800Wに切り換えます、表示は［P］［48］［　］となります。
④電源スイッチを「切」にします。再度①②の操作により設定内容を確認し電源スイッチを「切」にします。
※①と②の操作は2秒以内におこなってください。
※詳細については販売店、施工店にご相談ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社 リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

E0764